

富津市文化財審議会会議録

1 会議の名称	平成 23 年度第 1 回富津市文化財審議会			
2 開催日時	平成 23 年 5 月 19 日 (木) 14 時 00 分～17 時 00 分			
3 開催場所	富津市役所 2 階第 1 委員会室			
4 審議等事項	別添会議録及び資料のとおり			
5 出席者名	審議会委員 野中 徹 梶山林継 小坂一夫 川名 興 高梨 正 鈴木順一 濱名徳順 筑紫敏夫 笹生 衛 事務局 渡辺隆二 藤平則夫 小柴晴雄 小沢 洋 桐村修司 伊藤伸久			
6 公開又は非公開の別	公開 · 一部非公開 · 非公開			
7 非公開の理由	(理由)			
8 傍聴人数	0 人 (定員 5 人)			
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 80-1342 (2342)			
10 会議録 (発言の内容)	別紙のとおり			

上記会議の顛末を録し相違ないことを証するためにここに署名する。

平成 23 年 6 月 3 日

富津市文化財審議会

会長 梶山林継

委員 川名興

文 化 財 審 議 会 会 議 錄

発言者	発言内容
事務局	・あいさつ。
小柴生涯学習課長	<p>公私共に何かとお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。会議に先立ち 2 件報告させていただきます。はじめに本日の出欠席についてであります。本審議会委員総数 10 名、本日の出席委員は 7 名です。また野中委員と鈴木委員につきましては少し遅れてくるとの連絡を受けておりますので計 9 名になろうかと思います。従って富津市文化財の保護に関する条例第 27 条第 2 項の規定により会議が成立したことを報告します。</p> <p>次に、本年 4 月 1 日付けで教育委員会事務職員の人事異動がありましたので、ここで改めて事務局の紹介をいたします。</p> <p>～課長より紹介～</p> <p>それでは、ただいまから平成 23 年度第 1 回富津市文化財審議会会議を開催します。議題に入るまでの間、事務局で会議を進めさせていただきます。</p> <p>はじめに渡辺教育長よりご挨拶申し上げます。</p>
渡辺教育長	<p>お忙しい中、お出かけいただいた委員の皆様に感謝申し上げます。</p> <p>先の東日本大震災では各地に大変な被害をもたらしました。数日前の新聞記事によると、東北地方の国指定有形文化財が分かっているだけでも 500 件以上、流されてしまったり、壊れてしまったりといった被害が出ているそうです。おそらくもっと大きな数値になるのだろうと思うのですが、富津市内でも津波の被害は漁業関係を中心に出でおります。文化財関係については、今のところ被害の報告は聞いていない状況です。そのような中、この後にも報告いたしますが、青堀駅東口史跡情報案内所が完成いたしました。6 月 1 日の本格オープンを目指し、最終段階に入っていますので、後ほど現地をご覧になっていただきたいと思います。それから皆様にもご協力・ご指導いただきました『内裏塚古墳群・富津市文化財ガイドブック』を刊行することができました。担当者はいろいろ努力しているところなのですが、まだまだ不備な点、たくさんあるかと思いますので、また今年度も先生方にご指導いただければと思います。どうかよろしくお願ひいたします。</p>
小柴生涯学習課長	続きまして楣山会長よりご挨拶お願ひいたします。

楣山会長	<p>本日はご苦労様でございます。本年第1回の会議ということで、定例的な内容になっておりますが、ご審議いただきたいと思います。富津市の文化行政、まだまだ課題が多いものと思いますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。</p>
小柴生涯学習課長	<p>ありがとうございました。 本日の会議資料について、小沢文化係長より説明させていただきます。</p>
小沢文化係長	<p>それでは本日の会議資料の確認をさせていただきます。 ～資料の確認～</p>
小柴生涯学習課長	<p>市の公開条例に基づく当会議の公開について、ご説明いたします。</p> <p>～富津市情報公開条例に基づく公開の説明～ 富津市情報公開条例により本会議は情報公開の対象となります。会議録の作成のため、本日の会議内容を録音させていただいておりますことをご了承願いたいと思います。 では会議録署名人について、楣山会長ともうお一方どなたか選任していただきたいと思います。</p>
楣山会長	<p>それでは川名委員にお願いしたいと思います。よって本会議録の署名人は、川名委員と杉山で務めます。</p>
小柴生涯学習課長	<p>これから議事進行は、杉山会長にてお願ひいたします。</p>
楣山会長	<p>それでは早速本日の議題に入りたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題(1)平成22年度文化財審議会事業報告について ・議題(2)平成22年度文化財保護事業報告について これら2議題については、関連がありますので一括議題とします。事務局より説明願います。
小沢文化係長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題(1)平成22年度文化財審議会事業報告について それでは資料の2頁をご覧ください。 <p>～資料をもとに事務局による説明～</p> <p>通常、文化財審議会は年4回開催しておりますが、平成22年度は計3回の実施となりました。</p> <p>第1回目審議会を平成22年5月13日(木)に、市役所2</p>

階第 1 委員会室にて開催。議題としては 4 点。

- (1) 平成 21 年度文化財審議会事業報告について
- (2) 平成 21 年度文化財保護事業報告について
- (3) 平成 22 年度文化財審議会事業計画について
- (4) 平成 22 年度文化財保護事業計画について

また、会長・副会長の年季切れに伴い、互選により選出しています。

第 2 回目は平成 22 年 7 月 22 日(木)に、金谷の鈴木家・金谷美術館・金谷コミュニティーセンターにて実施。

金谷の鈴木家が国登録文化財に登録されましたとのと、私立の金谷美術館が平成 22 年 3 月にオープンしたことを受け、それらを視察するかたちで実施しました。また、鋸山石切場の文化財としての取扱いについて、さらに指定候補物件の検討等、場所を金谷コミュニティーセンターに移して活発な議論が行われました。

第 3 回目は平成 22 年 12 月 15 日(水)に、『鴨川市内の「波の伊八」の彫刻を訪ねて』と題した視察研修を実施。講師は鴨川市郷土資料館の石川丈夫氏にお願いしました。視察箇所は 6 箇所。

- (1) 鴨川市郷土資料館「伊八新発見展」
- (2) 鴨川市民ギャラリー「伊八大写真展」
- (3) 鏡忍寺(鴨川市広場)
- (4) 金乗院(鴨川市打墨)
- (5) 吉保八幡神社(鴨川市仲)
- (6) 大山寺(鴨川市平塚)

石川氏の詳細な説明を受けながら見学しました。

以上が平成 22 年度の文化財審議会事業報告でございます。

続きまして議題(2)の平成 22 年度文化財保護事業実施状況報告に移ります。

- ・議題(2)平成 21 年度文化財保護事業報告について
それでは資料の 3~4 頁をご覧ください。

平成 22 年度は、平成 18 年から行つてきましたまちづくり交付金事業の最終年度に当たっております、事業数そのものが非常に多くなっております。

～資料をもとに事務局による説明～

○天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業

実施額 2,460,000 円

(君津市・富津市の共同事業、総額 4,473,000 円)

事業概要：①被害防止…既設電気柵の維持管理

被害多発時期の追上げの実施
被害実態調査

②生態調査と個体数管理

③環境改変と生息環境調査

事業委託先：天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団

○市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）

実施額 3,535,000 円

実施概要：個人住宅建設に伴う確認調査

飯野陣屋本丸跡 11／163.31 m²

北塙塚遺跡 5 37.8／350.11 m²

蕨塙古墳 14／136.74 m²

野々間古墳 105／944.06 m²

計 4 件 167.8 m²

調査主体 富津市教育委員会

いずれも個人住宅建設に伴って実施したものです。ここ数年の傾向として、内裏塙古墳群の周溝調査が多く行われております。

飯野陣屋本丸跡は、飯野陣屋の本丸北辺を区画する堀の一部を確認しました。

北塙塚遺跡 5 は、奈良時代以降の官道の側溝や円墳の周溝を確認しています。

蕨塙古墳・野々間古墳は、内裏塙古墳群に属する前方後円墳と方墳で、いずれも周溝を確認しました。

○民間開発発掘調査事業

実施額 236,318 円

実施概要：社会福祉施設建設に伴う確認調査

東天王台遺跡 6 上層 214／437 m²

下層 6／437 m²

調査主体 富津市教育委員会

東天王台遺跡は富津市湊に所在し、縄文時代早期末～前期初頭の集落跡を確認しました。

○市直営事業発掘調査事業

実施額 169,123 円

実施概要：消防団詰所建設に伴う確認調査

南口遺跡 2 38.6／604.89 m²

	<p>調査主体 富津市教育委員会 南口遺跡は富津市下飯野に所在し、近世以降の水田跡や溝跡を確認しました。</p> <p>以上の3事業が、平成22年度中における発掘調査となります。調査成果については、この後、調査担当者の伊藤から報告させていただきます。</p>
伊藤主査	<p>それでは別添の平成22年度富津市内遺跡発掘調査事業についての資料をご覧ください。</p>
	<p>～資料をもとに説明～</p>
	<p>まず市内遺跡発掘調査事業についてご説明します。いずれも個人住宅建設に伴って実施しました。</p>
	<p>・飯野陣屋本丸跡 飯野陣屋の古絵図から、本丸北辺を区画した堀跡が確認できるであろうと予想しながら調査に入りました。約1mの客土・表土下で、その堀の一部と考えられる溝を確認しました。深さは約1.2mで、断面は箱形です。土留め兼足場と想定される大量の瓦片・陶磁器片の集積箇所を検出しました。</p>
	<p>・北塙塚遺跡5 平成11年度と20年度に調査した奈良時代以降の官道の側溝の続きを確認しました。さらに北塙塚古墳群で9基目となる円墳の周溝を確認しました。</p>
	<p>・蕨塚古墳 三条塚古墳の北側に位置する小型の前方後円墳です。今回、前方部南西側の周溝の一部を確認しました。調査の結果、現在、把握している周溝想定プランの方向を若干修正する作業が必要となりました。また、周溝の南で確認した溝は、断面が箱形を呈するものでありましたので、飯野陣屋外邸と関連する可能性が考えられます。</p>
	<p>・野々間古墳 小型の方墳の南側の外周溝を長さ12mにわたって全掘しました。昭和62年の調査成果を追認するかたちの調査となりました。</p>
	<p>なお、今回、皆様にお配りした資料ですが、例年ですと富津市内遺跡発掘調査報告書として年度末に刊行していたのですが、野々間古墳の発掘調査費用が予想以上にかかっ</p>

てしまつた関係で、整理作業及び印刷製本費が捻出できなくなつてしまつました。文化庁協議の結果、報告書は次年度に刊行することになりましたのでご承知おきください。

・南口遺跡 2

学校用地として使用されていた時期以前の整地層下で、近世以降の水田跡や溝跡を確認しました。

・東天王台遺跡 6

旧健康学園舎の基礎による攪乱が著しい中、幸うじて残った炉穴底部とピット群から住居の存在が考えられます。出土した遺物から縄文時代早期末～前期初頭のものと考えられます。

以上で平成 22 年度に実施した発掘調査概要報告を終わります。

小沢文化係長

資料の 4 ページをご覧ください。

～資料をもとに説明～

○文化財周知板設置事業

実施額 72,975 円

事業概要：市指定文化財説明板の設置 2 か所

- ・諸岡太左衛門の墓（金谷・華蔵院）
- ・小久保藩邸、藩校跡（小久保）

実施額 31,500 円

- ・東京湾海堡案内板設置

指定文化財の周知板については、一応一通りの設置作業は終えておりますので、現在は既設のものが劣化したことによる付替えを行つてゐる状況です。また昨年度は、指定文化財にはなつていないので、地元から設置の要望が高かつた小久保藩邸・藩校跡、所謂小久保陣屋跡ということになりますが、その周知板を中心公民館の敷地に設置しました。さらに市民からの要望が高かつた東京湾海堡についての説明板についても、富津岬の明治百年記念展望台の直下に設置しました。

○富津市指定文化財保存整備事業

- ・内裏塚古墳墳丘部樹木伐採

実施額 180,000 円

○指定文化財管理費補助事業

- ・県指定物件 5 件、市指定物件 17 件、計 22 件に対する

る維持管理費一部助成

実施額 119,000 円

指定文化財のうち、維持・管理が必要なものに対して、一部補助金を交付しているというものです。

○文化財・文化財施設環境整備事業

実施額 8,400,000 円

実施箇所：飯野陣屋土壘樹木伐採

- ・亀塚古墳樹木伐採
- ・内裏塚古墳周溝部草刈
- ・弁天山古墳墳丘草刈
- ・大貫文化財収蔵庫周辺草刈
- ・飯野文化財収蔵庫周辺草刈

県の緊急雇用創出事業補助金を活用して実施したもの。

とくに飯野陣屋の土壘樹木については、かなり大掛かりに実施しておりますので、これまでの陣屋の景観とは大きく変化しています。

○史跡用地取得事業

実施額 13,049,448 円

- ・内裏塚古墳墳丘部(1980 番地)
- ・内裏塚古墳周溝部(1946・1947・1972-1・1972-3)

事業の内容については、事務担当者の桐村から報告させていただきます。

桐村主査

それではご説明いたします。

別添資料をご覧ください。

～資料をもとに説明～

事業は平成 22 年度の文化庁の史跡等購入費補助金を得て実施しました。この補助金は総事業費の 8 割を国が負担してくれる制度です。内裏塚古墳については、平成 15 年度から買上げ事業が始まり、途中、間は空いていますが、平成 21 年度、平成 22 年度と 3 年目に入りました。昨年度は、墳丘部 1 筆、周溝部 4 筆の計 5 筆について買上げを行いました。このうちの墳丘部 1980 番地については、共有者 112 名からなる共有地であった関係で、この事業期間内に共有者あるいは相続人が追跡できたものについて、各共有者個人の共有持分権利に対し、個々に市と売買契約を結びながら買上げを実施しました。それにより墳丘部については、富津市の共有持分が約 112 分の 88 となり、8 割方の所有権を得ることができました。今回、追いきれなかった残りの約 112 分の 24 については、今後も時間をかけながら相続人を追跡しながら解決していくこととし、最終的に 100% の

小沢文化係長

富津市名義となるよう努力してまいります。
以上で説明を終わります。

次に移ります。

以下は全てまちづくり交付金関連の事業でございます。

○青堀駅史跡案内板設置事業

- ・西口案内板「青堀駅周辺史跡案内図」

- ・東口案内板「内裏塚古墳群案内図」

実施額 6,720,000 円

青堀駅西口と東口に案内板を設置しました。西口については、ステンレス製の史跡案内板とし、西は大乗寺の辺り、南は市役所の辺り、東側は君津市に一部かかる辺りまでかなり広範囲を扱って、その中にある古墳はもちろん、お寺や主要な史跡等を盛り込んで作成しました。東口については、内裏塚古墳群の分布範囲に限った詳細な案内図になっています。台座は前方後円墳形の御影石製の台座に、陶板で案内図を嵌めこんでつくったものです。東口ロータリーのモニュメントを兼ねたようなものになっています。

この後、会議終了後、現地をご案内したいと思います。

○史跡案内標識設置事業

- ・主要交差点への内裏塚古墳案内標識設置

(大堀中央 2・大堀坂下 1・大堀亀下 1)

実施額 438,000 円

○青堀駅自由通路床サイン陶板設置事業

- ・各古墳の略図・方向・距離を示した陶板 7枚設置

(上野塚・内裏塚・九条塚・三条塚・稻荷山・割見塚・古塚)

実施額 1,278,000 円

青堀駅の西口と東口を結ぶ自由通路の床面に、主要古墳を図化した陶板を嵌めこんでいます。こちらの方向に何百メートル行ったところに○○古墳がありますよ、ということが判るようになっています。

○ガイドブック作成事業

- ・内裏塚古墳群 富津市文化財 ガイドブック印刷製本

実施額 6,861,700 円

平成 19 年度にガイドマップを作成しましたが、それと同じ事業の最終年度版のものとして作成したものです。なるべく小さく、持ち運びができるようにと意識して作成しました。

○講習用教材作成委託事業

・内裏塚古墳群総覧増補改訂版印刷製本

実施額 390,000 円

内裏塚古墳群ガイドボランティアのマニュアルとして作成したものです。

また、ここには書いておりませんが、建設部の事業として青堀駅東口に建設していた史跡情報案内所が 6 月にオープンします。内裏塚古墳群の主要古墳の写真パネル等を展示して、文化財の情報発信基地として機能させていきたいと考えています。施設の愛称を市民から募集しましたところ、「古墳の里ふれあい館」として決まりました。後ほど先の案内板とともに、現地をご案内したいと思います。

以上が平成 22 年度の文化財保護事業実施状況報告でございます。

梶山会長

ただいま報告を受けた議題（1）・（2）について、質問等をお受けします。何かございますか？

小坂委員

内裏塚古墳の買上げについてお聞きする。坪単価はどのくらいか？

桐村主査

墳丘部は m^2 単価が 1,200 円、周溝部は県道に面したところで m^2 単価 9,750 円、市道に面したところが 7,000 円という不動産鑑定の評価額でした。

川名委員

稻荷山古墳の入口に立っている“マムシ注意”的看板について。私自身、あの古墳の近くに住んでいるので以前から半信半疑で見ていたが、先日、実際に道路を這っているマムシを目撃した。地元でも最近非常に多く出るようになったと聞く。幸い、古墳に登ろうとしても、進入路の草木が繁茂していて、中に入りたくても入れない状態にあり、見学者のマムシ被害は今のところ耳にしない。今回作成したガイドブック効果により、見学者が一層増加し、マムシ被害に遭われてしまってもいけないので、周知徹底したいかがか？

小沢文化係長

以前は教育委員会でも進入路の草刈りを行い、古墳の見学がしやすいように環境整備をしていた時期があったのですが、土地所有者さんがあの場所を封鎖されたのです。といいますのも、数年前に中学生が古墳に登って火遊びをしたことがあったらしく、それからは、もう中に入れない方が良いということになりました。現在のように手付かずになっているのです。教育委員会へもその旨連絡がありましたが、承知している状態です。

	<p>委員会としても、ガイドブックやマップを作成し、皆さんに広く古墳を紹介はしているのですが、やはり大半は民有地ですので、いろいろと難しい問題ではあります。</p>
笹生委員	<p>先ほど市内遺跡事業についていろいろと報告がありましたし、史跡の買上げが大きく進んだということは、市も財政が厳しい中にありながら、文化財行政としては良い方向へ進んでいるなと思っているところです。</p> <p>しかし一つ気になったことは、市内遺跡で扱った飯野陣屋の堀の部分についてです。あの場所は、陣屋の本丸のちょうど東辺にあたる部分ですよね。飯野陣屋内の開発については、場所が場所だけに、市街地化していく可能性が高いと思われます。あの陣屋は濠の部分だけが県指定史跡になっているはずですが、今後、市街地化をしていくうえで、どのように守っていくのか？ それともう一つは、富津市の中では、内裏塚古墳群と飯野陣屋が文化財の目玉となっていくものと考えますので、今後あのエリアをどういった方針で保護していくのか？ その方針がないと、なし崩し的に、例えば墳丘は買ったけれども、その直ぐ脇にまで家が建ってしまうというような事態にもなりかねない。ですからあのエリアについて、マップのようなものを作成し、このあたりは買収していく区域、このあたりはそこまで規制せずに開発は認めます、とかを色分けした青図だけでも持っておいたほうがよいと思いますので、その辺はまた審議会でも議論していく必要があるものと考えます。開発と保護、両立させることはいろいろと難しい問題ではありますが、保護側にある程度の絵、方針がないと上手くいくものではない。このエリアについては早急に取組み、早い段階で市民に示していかないと手遅れになってしまう。</p>
梶山会長	<p>ただいま笹生委員から陣屋の内部についての意見がありましたが、実は随分前から問題にはなっていた。当初から市街化区域に組み込まれるようにはなっていましたので、文化財保護側からすれば大きな問題であったことは事実です。古墳群については、徐々にではありますが国指定をかけながら公有地化を進めてきています。飯野陣屋についても絵図面等が残っていますので、将来は内部ができるだけ史跡にもつていけるのが一番良いようには思います。これは前からの宿題であって、今後も真剣に考えていかなければいけない問題です。</p>
小沢文化係長	<p>梶山会長と笹生委員からご指摘がありましたが、最近の古墳群の中での調査事例として、三条塚古墳と稻荷山古墳の周溝部での開発に伴う発掘がありました。史跡指定にな</p>

っていない場所での開発でしたので、我々としてもこれを食止めることができずに認可せざるを得なかつたということがありました。県の文化財課と協議し、浄化槽をずらしてもらうとか、極力遺構の破壊を免れるような策は講じてはいますが。文化庁からも早く内裏塚古墳群の整備計画を立てなさいとは指導されてはいるのですが、何しろ市の一係で対処できる問題をはるかに超えておりますので、内裏塚古墳群保存整備委員会のようなものを立ち上げ、教育委員会だけでなく、建設部や企画財政部等を交えたかたちで市一体となって取組んでいかなければならぬ問題です。

筮生委員

保存整備計画ということであれば、当然都市整備部局にも入ってもらわなければ動かない問題だと思う。

楣山会長

さきほど蕨塚古墳の調査報告で少し触れていましたが、飯野陣屋の外邸の調査はほとんどすることなく、開発が行われているのですよね。所謂、昔の侍屋敷といいますか、明治の時に既に開墾でかなり壊されている可能性はあるのですが。上飯野・下飯野の地名の由来にも関係していますので、陣屋のことを考えていくのであれば、この場所も含めたかたちにしなければならない。いずれ事務局のほうで案を示していただきたいと思う。

他にいかがですか？

川名委員

駅前のふれあい館について、今後どのようにボランティアの方々と運営していくのか？ また来訪者用にニュースレターのようなものを作成して置いておくというのも、広く周知するための一つの方法だと思うが。

小沢文化係長

内裏塚古墳群ガイドボランティアに関しては、現在 17 名の方が登録されています。4月 24 日に会議を行い、案内所を含めた活用の仕方ということで話し合いましたが、まだはつきりとした案が見えておりませんので、今後、早急に決めていきたいと思います。

案内所には A3 判の地図と説明を書いた両面刷りの資料や観光マップ等を常時置いておき、見学者に対応したいと思っています。いずれにせよ、まだ日が浅いものですから、今後いろいろと要望なり、案が出てきた中で対応していきたいと思います。

楣山会長

天然記念物のサルについて一言。サルと害獣の重なりを最近よく耳にします。現地ではイノシシが頻繁に出てくるようになっているそうなのですが、その辺の対応について

	はどのようにになっているのか？
小沢文化係長	最近はサルとイノシシ両方に対応した電気柵に付替えてもいるようです。今までのようなサルによる農作物の被害というよりは、実はイノシシによるものの方が多いそうです。県の自然保護課などではいろいろなモデル事業も開始しておりますので、それらとタイアップして取組んでいきたいと思います。また、本来指定地内にいたはずのT1群のサルの行動域が、実は指定地からは外れてしまっているようでもありますので、エリアや赤毛サルとの混血の問題も含めて、今後考えていかなければならない問題です。
楣山会長	他になにかございますか？　ないようでしたら次の議題に移ります。
	・議題（3）平成23年度文化財保護事業計画（案）について
	事務局より説明願います。
小沢文化係長	それでは資料の5ページをご覧ください。 ～資料をもとに事務局による説明～
	○天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業 予算額 2,460,000円 事業内容：①被害防止事業 ②生態調査と個体数管理 ③環境改変と生息環境調査 事業委託先：天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団 前年に引き続き実施いたします。
	○市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業） 予算額 3,378,000円 実施内容：個人住宅建設等に伴う確認調査 300／3,000m ² 重要遺跡範囲確認調査 調査主体 富津市教育委員会 富津市文化財集報作成（302,400円） このなかの富津市文化財集報作成については、市の単費で実施したような、昨年度でいえば消防詰所建設に伴った南口遺跡の発掘調査のようなものについて、同じく市の単

費で作成し、報告書を作っていくというものです。

○民間開発発掘調査事業（事業者負担分）

予算額 8,204,000円

事業内容：各種民間開発事業に伴う確認・本調査

125／1,250m²（確認）

1,250m²（本調査）

調査主体：富津市教育委員会

すでに今年度に入りましてから、携帯電話の無線基地局建設に伴う発掘調査を実施しています。

○文化財周知板設置事業

予算額 73,000円

事業内容：既設の指定文化財説明板の老朽化に伴う付替え並びに新規指定物件の周知板の設置 2か所（場所は未定）

○市文化財整備事業

予算額 180,000円

事業内容：内裏塚古墳墳丘部樹木伐採

引き続き二間塚共有地管理委員会の方々にお願いしようと考えております

○指定文化財管理報償費

予算額 119,000円

事業内容：県指定物件5件、市指定物件17件、計22件に対する維持管理費の一部助成

これについては、昨年度まで補助金で出していたものを、市監査員の指摘から報償費として出すことになりました。

○文化財・文化財施設環境整備事業

予算額 8,500,000円

内裏塚古墳・弁天山古墳・笹塚1・2号墳等草刈

各文化財収蔵庫周辺草刈

飯野陣屋土壘樹木伐採

今年が3年目の事業になります。県の緊急雇用の費用を用いて実施します。

○飯野文化財収蔵庫解体工事

予算額 1,088,000円

事業内容：老朽化に伴う飯野文化財収蔵庫の解体工事中に入っていた出土遺物や発掘機材等は、既に他の収蔵庫へ移管しております。現在入っているものは、富津市文化協会が収集した主に民具・農具等となっています。今後

	<p>これらについては、飯野小学校の空教室をお借りして、とくに良いものについて展示していくことになっています。</p> <p>○青堀駅東口史跡情報案内所・トイレ清掃委託 予算額 1,167,000円 事業内容：毎日の清掃作業と閉館時の施錠管理</p> <p>以上が平成23年度の文化財保護事業です。</p>
榎山会長	ただいま説明を受けた議題（3）について、質問等をお受けします。何かございますか？
川名委員	飯野小学校での民具の展示について。ただ部屋に置くだけでは意味がないので、是非学校で使えるよう、生きた教材となるようにしていただきたい。
小沢文化係長	川名先生ご指摘のとおり、活用ということは非常に大事であるとは思います。我々がいま考えているのは、これはこのように使うものですよ、ということがわかるような説明書きとあわせた展示方法です。
笹生委員	写真と一緒に展示しないと理解してもらえないでしょうね。民具はものだけ出していてもわかつてももらえない。
川名委員	先生方に何かヒントを与えれば、教材なり、いろいろなところで使ってもらえるはず。何か工夫して良い方向にもっていかければ。
笹生委員	私も安房博にいた時に、漁具関係の展示を手がけましたが、やはり漁具だけ出してもなかなかわかつてももらえない。このように使うのですよと写真とともに展示して初めて理解してもらえるということがわかった。また文章で示してもそれはそれでよい方法とはいえない。とくに今回は小学生相手になるだけに、絵や写真を多用していかないと。民具の展示は特別難しいものといえる。
榎山会長	中には危険な道具もありますので、手などを挟まれたりしないよう、その辺は気をつけないと。
小沢文化係長	民具に限らず、高度成長に伴った道具など、例えばテレビや電話といったものもあるのです。それらも含めてどのように展示していくべきか。
笹生委員	たしか葛飾の博物館でそういう展示をしていましたね。

楣山会長	<p>上手に活用できればという話がでてきましたが、また審議会としてもバックアップしていきたいと思います。</p> <p>他に何かありますか？　ないようですので、次の議題に移ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題（4）平成23年度文化財審議会事業計画について <p>事務局より説明願います。</p>
小沢文化係長	<p>それでは資料の7ページをご覧ください。</p> <p>この計画については、審議委員の皆さんのはし合いで決めていただければ良いと思います。</p> <p>～資料をもとに事務局による説明～</p> <p>第1回の審議会は本日開催しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成22年度文化財審議会事業報告について (2) 平成22年度文化財保護事業報告について (3) 平成23年度文化財審議会事業計画について (4) 平成23年度文化財保護事業計画について (5) 青堀駅前史跡情報案内所・案内板等現地確認 <p>第2回以降の予定については、一応事務局の方で案をだしてあります。</p> <p>第2回目は7月中の実施を予定してみました。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 指定物件の確認 (2) 指定候補物件の検討 (3) 内裏塚古墳群の保存整備計画と方向性について (4) 飯野収蔵庫内の民具類の鑑定と選別 <p>今まで保留になっている指定候補物件について、一度整理し、どの物件を指定し、また保留していくのか。それらを含めて皆様のご意見を伺えればと思います。それから先ほども少し触れましたが、避けては通れない内裏塚古墳群の保存整備計画について、今後どのような体制で取組んでいったら良いのかについて、考えていくべきだと思います。それからこれも話しに出ましたが、飯野収蔵庫内の民具について、これも皆様にご覧いただきたいと思います。</p> <p>第3回目は12月中の実施を予定しております。</p> <p>富津・君津市域の社寺彫刻と題した視察研修を考えております。</p>

	<p>第4回目については、年度末に実施し、毎年行っているような事業報告と次年度事業の検討を中心に考えています。</p> <p>以上、事務局（案）として提案させていただきましたので、委員の皆様でご検討いただければと思います。</p>
楣山会長	<p>ただいま事務局から提案がありました。</p> <p>たしかにここ数年指定した物件の再調査とか、候補物件の調査に関して停滞していたことは否めません。今後、回を重ねながら、少しずつ解決していきたいと思います。</p> <p>それでは第2回・第3回の内容についていかがですか？ 内容については事務局（案）で良いように思いますが。</p>
	<p>～一同 異議なし～</p>
	<p>それでは（案）を取っていただき、今年度実施していきたいと思います。</p> <p>事務局のほうで何かありますか？</p>
小沢文化係長	<p>それではただいま指定の話が出ましたので、今、どのようなものが指定候補に上がっているのか、を今一度ここで確認しておきたいと思います。</p> <p>なお、これについては個人情報を扱うことにもなりますので、これより先は非公開とさせていただきます。</p> <p>一同、了承</p>
	<p>～議事録 非公開～</p>
楣山会長	<p>いろいろと出たようですが、今後の文化財審議会の検討課題にしていきたいと思いますのでよろしくお願ひします。他に何かありますか？</p> <p>ないようですので、事務局へお返しする。</p>
小沢文化係長	<p>それではこの後、青堀駅前に移動していたさき、史跡案内所や案内板等についての視察に参りたいと思いますのでよろしくお願ひします。</p>
小柴生涯学習課長	<p>長時間にわたり慎重なご審議ありがとうございました。以上をもちまして平成23年度第1回富津市文化財審議会会議を閉会いたします。</p>
	<p>閉会</p>